

山陰合同銀行がクラウド型マニュアル作成ツールの紹介を開始
～地域企業への『Teachme Biz』提供を通して、地域の生産性向上を実現～

ビジュアル SOP マネジメントプラットフォーム「Teachme Biz」を提供する株式会社スタディスト（本社：東京都千代田区、代表取締役：鈴木悟史、以下「スタディスト」）は、株式会社山陰合同銀行（本店：島根県松江市、取締役頭取：山崎 徹、以下「山陰合同銀行」）とビジネスマッチング契約を締結いたしました。これにより同行とスタディストは地域企業への「Teachme Biz」提供で連携することが可能となり、生産性の向上や人材不足等の課題解決に貢献いたします。同行は、2020年8月6日より地元企業に対して「Teachme Biz」とのビジネスマッチングを開始いたします。

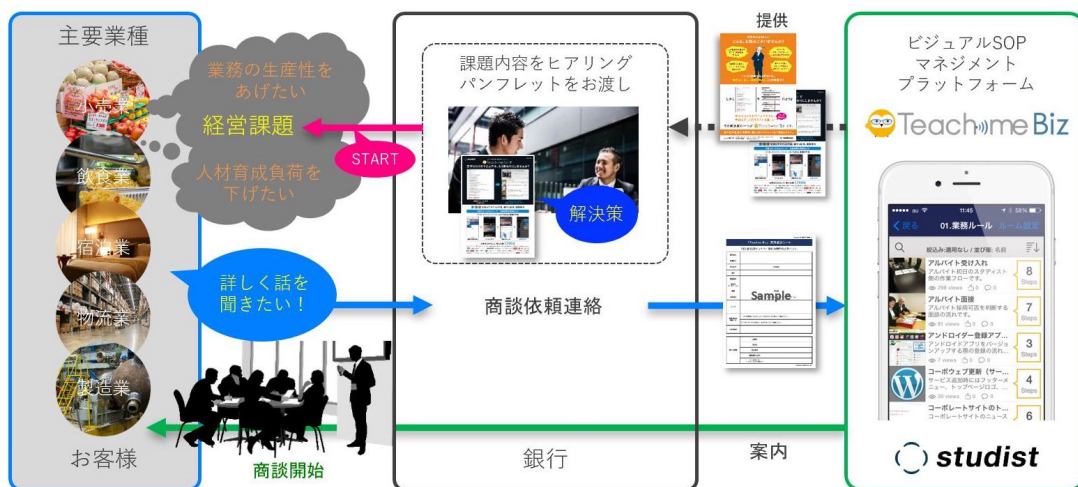
※SOP：標準作業手順書（Standard Operating Procedures）

■業務提携の背景

山陰合同銀行は、「お客様本位の付加価値共創」を重点施策とし、地域産業の競争力強化や、取引先企業の付加価値向上に取り組んでいます。そのような中、取引先には人材不足や生産性向上に課題を抱える企業も多く、画像や動画で手順を伝え、高度で迅速な人材育成が可能になる「Teachme Biz」へのニーズが高まっています。一方で、東京の企業であるスタディストが提供するサービスについての情報は、首都圏以外の地域ではなかなか得ることができず、導入以前に「Teachme Biz」がどのようなサービスなのか知られていないという課題がありました。今回、山陰合同銀行が「Teachme Biz」の紹介を行うことで、山陰地方において導入しやすいサービスとなりました。

■ビジネスマッチングの詳細

山陰合同銀行は、生産性向上ニーズや働き手不足等の問題を持つ地元企業に対して「Teachme Biz」を紹介し、企業側にニーズがあった場合は、スタディストの営業担当を紹介します。



図：ビジネスマッチングにおける地方銀行とスタディストの役割

■今後の展開

スタディストでは、業務提携している地方銀行と協力し、各地の生産性向上、人材不足に係る問題解決に貢献しつつ、雇用創出、地方創生を目指してまいります。

■Teachme Biz について

クラウド型のビジュアル SOP(*1)マネジメントプラットフォーム「Teachme Biz (ティーチミー・ビズ)」は、企業の標準作業手順書の作成、管理を効率化することで、生産性を大きく向上させるソリューションです。手順書の作成時間を大幅に削減するだけでなく、人材育成効率化や顧客満足度の向上など、様々な成果が報告されています。2020年3月に発表された「マニュアル手順書ツールユーザー満足度調査」(*2)においては、ユーザー満足度、認知度、利用率の全ての項目でNo.1を獲得しました。利用料金は1社あたり月額50,000円(税抜)から。

<https://biz.teachme.jp/>

*1 SOP：標準作業手順書 (Standard Operating Procedures)

*2 2020年3月9日発表 (株)アイディエーション「マニュアル手順書ツールユーザー満足度調査」

■株式会社スタディスト 会社概要

所在地：東京都千代田区神田錦町1-6 住友商事錦町ビル9階

設立：2010年3月19日

資本金：6億7,524万円(資本準備金含む)

代表者：代表取締役 鈴木悟史

事業内容：ビジュアル SOP マネジメントプラットフォーム「Teachme Biz」の開発、販売

ウェブサイト：<https://studist.jp/>

「伝えることを、もっと簡単に。」というミッションのもと、ビジュアル SOP マネジメントプラットフォーム「Teachme Biz」を開発、販売。企業における情報伝達ロスをなくし「知る、考える、創り出す喜びにあふれた、知的活力みなぎる社会をつくる」というビジョンを掲げるスタートアップ。

■ビジネスマッチング契約締結地方銀行(合計27行、発表順)

千葉銀行、四国銀行、常陽銀行、静岡銀行、横浜銀行、大分銀行、足利銀行、徳島大正銀行、香川銀行、南都銀行、十六銀行、七十七銀行、群馬銀行、琉球銀行、第四銀行、京都銀行、紀陽銀行、北海道銀行、北陸銀行、八十二銀行、百五銀行、福岡銀行、熊本銀行、親和銀行、十八銀行、西日本シティ銀行、山陰合同銀行

■報道関係者お問い合わせ先

株式会社山陰合同銀行 法人営業部 担当：谷口

電話：0852-55-1864 E-mail：houei@gogin.co.jp

株式会社スタディスト 広報：朝倉 電話：03-6206-9330 E-mail：pr@studist.jp